

ひびき

令和8年6月30日(火)
静岡大学教育学部
附属静岡小学校
4年 学年便り 7月号

「このワッペンの形、いいでしょ！」

先日は、授業参観並びに懇談会へのご参加、ありがとうございました。6月に入ってから、ひびきの子は、特別支援学校交流会、プール開きなどを実行委員が中心となって行ってきました。毎週木曜日には、朝霧本キャンプに向けて、グループ活動を実施しています。

グループ活動（以下グル活）は、4年生から6年生が15のグループに分かれ、縦割りのグループとして本キャンプに向けて動き出します。教師主導ではなく、2泊3日の宿泊行事を子どもが自身で創り上げていきます。各グループのグループ長が、本キャンプの活動の土台を整えるために時間内に集合することやグループのメンバーが忘れ物をしないように働きかけています。4年生としてそんなグループ長の思いにどのように応え、初めてのキャンプに臨んでいくのか、ひたむきに取り組もうとするひびきの子を支えていこうと思います。

グル活では「第1回顔合わせ兼全体会」「第2回結団式」「第3回駿府城オリエンテーリング」「第4回係別会議」「第5回テント計画・持ち物計画・キャンプファイヤー練習説明」と着実に歩みを進めてきました。子どもが作成したワッペンには、グループの目標や大切にしたいという願いが込められています。ひびきの子は、それぞれのグループで形が異なるワッペンの意味について問い合い「そんな思いがあるんだ！いいね」「このワッペンの形、いいでしょ！」と早くもグループに対する所属感や愛着を感じている姿が見られました。日記では、家庭で本キャンプの準備を進めている様子を記入し「キャンプ楽しみです」という言葉で締めくくっている子もいました。また「今日の持ち物はこれだよね？」「忘れないようにグル長さんからもらったメモを予定帳に挟んでおいたよ」など学級内でキャンプに対する思いを高めている姿も見られます。ひびきの子が「繋～自分よし 相手よし みんなよし～」という重点目標に迫っていくために、グループの仲間・集団の仲間と互いの思いを重ねながら、自分にできることを考え、行動する姿を期待しています。そして、4～6年生という異学年集団でともにグル活・本キャンプを乗り越えていくことを通して、普段の学級・学年では学べないことをたくさん吸収し、自分たちの波紋をさらに大きく広げていくことを願っています。

